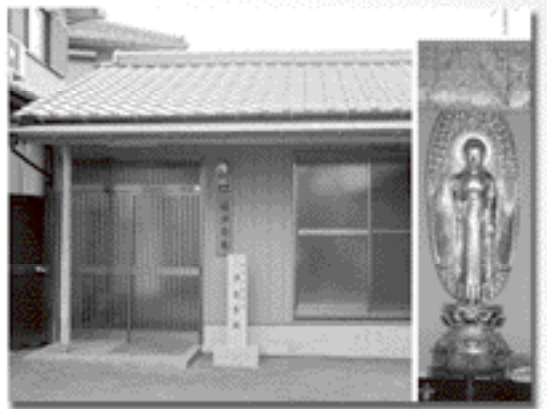


松原歴史ウォーク

Vol.163

堀に建立された浄念寺

西田孝司



浄念寺跡に建つ浄念庵(天美南4丁目)と本尊の阿弥陀如来立像

大念仏堀同行が信仰する 融通念仏宗寺院の昔と今

天美南四丁目の堀地区で、堺ー大堀線の府道延伸工事によって、八世紀後半の奈良時代の水田が見つかりました。そこには、当時の人々の足跡のほか、荷車の車輪がめりこんだ轍も残っていました。近くでは、この時期の住居や倉庫と考えられる五棟の建物も検出されています。

その後、丹北郡堀村となった江戸時代の集落は、河内天美駅前の天美商店街を南に下った地域に形成され、水田や畠も増えていきました。

商店街から南へ行くと、現在はフェンスで囲まれています。その堀遺跡を越えた、貞正寺(真宗大谷

派)の南西側に、大念仏堀同行が建てた浄念寺跡の石碑と堀浄念庵の建物がみられます。

堀村には、かつて浄念寺と称する融通念仏宗の寺院が建っていました。融通念仏宗の大本山である大念仏寺(大阪市平野区)による延宝五年(二六七七)六月の「大念仏寺四十五代記録 并末寺帳」に、浄念寺は慶長十八年(一六一三)に堀村檀那(檀家)によって創建されたとあります。

創建時の住職は分かりませんが、融通念仏宗の中山本である、来迎寺(本市丹南)の寛文六年(一六六六)十月の「河州丹南郡丹南村来迎寺末寺御改帳」には、末寺として浄念寺があり、秀道の名が見られます。秀道は、「大念仏寺末寺帳」によれば、万治三年(一六六〇)に浄土宗から融通念仏宗に帰依したと書かれています。

浄念寺は近代に入って、廃寺となりましたが、今も江戸時代以来の大念仏堀同行で結ばれた三十四軒の檀家によって、融通念仏の信仰が受け継がれています。寺跡に浄念庵を建て、本尊の阿弥陀如来立像や弘法大師像をはじめ、阿弥陀如来絵像や多聞天絵像が祀られています。

このうち、阿弥陀如来絵像は傷みが激しいですが、裏書に「河州布忍堀浄念寺什物 修補之願主看坊 法入 元文二(丁)季冬十五日」と記さ

れています。堀は今でも天美地区となつていますが、もともとは布忍地域であることがわかります。

元文二年(一七三七)に絵像が修理されたのですが、十三年後の寛延三年(一七五〇)には、喚鐘も寺の什物となりました。喚鐘は平成二十二年に、市教育委員会が調査を行い、二つの区画に「寛延三年十一月十三日 河州丹北郡堀村浄念寺什物 施主 浄成敬白」と「三誓心月比丘尼 清法 寿光」と刻んでいました。

住職と思われる浄成とともに、三誓心月比丘尼の名前があることと、同庵に現存する読経の際に打ち鳴らす鑿にも「十七日尼講 堀村浄念寺」と彫られていることから、女性の信仰も強かったことがわかります。

寺跡には「道明上人」と刻まれた墓石も祀られており、「□文十二年」の年号が読みとれます。年号は寛文と推測され、一六七二年のことです。秀道の時期とほぼ同じですので、秀道が建てた墓かもしれない。

墓石の横には、半跏座像の延命地藏尊が祀られ、台石に文化六己巳年(二八〇九)六月吉祥日と彫られています。毎年八月、ここで堀の地藏盆が盛んに行われるのです。

浄念庵の建つ寺地は、堀の人々とつとて、ふるさとを実感する場所のひとつといえるでしょう。

ニュース 情報 福祉 健康 子育て 税金 環境 安全 消費生活 教育 その他 各種相談 健康の 子育ての 無性に ウォーク 催し 講座 イベント スポーツ 図書館 地域交流 みんなの広場 イベント ガイド